

Young Adult 通信 vol.77

Young Adult 通信は中学生・高校生向けのお便りです。

特集テーマ

クール



9月末までこのテーマの本を YA コーナーで展示しています♪

「クール」ポスター・イラスト展



マリンくんさん (四中)

市内中学生が描いてくれたポスター・イラストです。YA コーナーで展示中です。ぜひご覧ください☆



つねさん (七中)

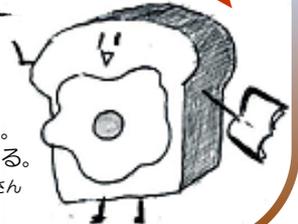


やまさん (七中)

29年度キャラクター大賞



名前：ブックリン
特徴：自分のおなかから、本をとって読んでくれる。
生みの親：妙典中・えいさん さん



名前：しょくぱー
特徴：本があると元気になる。常に本を持ち歩いている。
生みの親：一中・やさいも さん



『浪川雅夜 (なみかわ まさや)』
幸・yuki・さん (七中)



『しおりん』
ぼんちゃん さん (六中)



『ほ.』
まる さん (一中)



『Book-girl』
Bookちゃん さん (六中)



『ねむくん』
桐山 さん (一中)



『おふとっん@先輩が神々の集い』
さん (下貝塚中)



『Mr.きの子クン』
ようせいの友達 さん (一中)

佳作 今回の応募総数は59通でした。佳作作品は次号でもご紹介します☆

BLT活動報告 YAルームデコClub

BLT (Book Loving Teens=本を愛するティーンのみなさん)の参加型イベント
第3回YAルームデコClubを3月28日(火)に開催しました☆



ブラックボードや、お部屋のガラス面いっぱいのイラストもにぎやか♪



ペーパーフラワーでクラッカー風☆



参加してくれたみなさんです。

参加してくれた小学生・中学生のみなさんが、YAルームに、4月～6月の展示テーマである『時間』をイメージしたイラストや、華やかな立体作品などでさまざまな飾り付けをしてくれました。

作品は、6月25日(日)までみなさんにご覧いただきました☆

編集者のひとこと

❄️ 冷たいアイスも氷も大好き！夏の楽しみだー ❄️ 毎年、今年はずっと暑い！と思います…。
❄️ 今までで一番クールだったのは、ギャグをはずした時…寒っ！ ❄️ 早く、涼しい季節になるといいな～♪

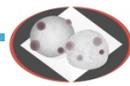
『クール』



『和菓子のアン』 坂木司／著 光文社

食べることが大好きな梅本杏子^{きょうこ}、通称アンちゃんは高校卒業後、百貨店地下の和菓子店「みつ屋」でアルバイトをはじめ。バックヤードに入るとまるっきり人がかわってしまう椿店長。イケメンだけど中身は乙女な社員の立花さん。そして元ヤンで、先輩アルバイトの桜井さん。そんなちょっとユニークな仲間と一緒に働く日々。7・8月には涼しげな七夕の和菓子、「星合」「鶺鴒」を女性客達が買っていき、その様子を見て、杏子は1つの疑問を持った。

他にも四季折々の和菓子を通じて謎解きがいっぱい！読後はきっと和菓子を食べたくなる！杏子のその後の活躍が気になる方は、続編『アンと青春』もどうぞ。



『ゴーストハント 1 旧校舍怪談』 小野不由美／著 KADOKAWA

麻衣が入学した高校の旧校舎は、祟^{たたり}るらしい。去年も、取り壊しの工事の途中で死傷事故が起き、工事は中止になったそう。工事を始めたい校長は、ゴーストハンター、坊主、巫女、エクソシスト、霊媒師を呼び集める。彼らはそれぞれに原因を調べたり、除霊を行ったりして事態を治めようとするが、なかなか怪現象の原因は特定できない。祟りの意外な真相とは。

個性的な霊能者たちの小競り合いと活躍が楽しい7冊のシリーズだが、2巻めからはかなり怖いので、涼しく、というより寒くなりたいたい方におすすめ。



『雪だるまの雪子ちゃん』 江國香織／著 山本容子／銅版画 偕成社

雪子ちゃんは、ふつうの雪だるまとはちがいます。野生の雪だるまなのです。

豪雪の日に、空からまいおりにきた雪子ちゃんは、山のふもと、小さな村のはずれに、ひとりて住んでいます。夜になると専用のたらいに入り、画家の百合子さんや雑貨屋さんのたるさんとおしゃべりをしながらトランプをしたりします。たまに学校にいき、人間の子どものちなみやりゅうたちといっしょにお勉強することもあります。冬が終わると、夏じゅう眠りとおす休眠に入ります。

雪子ちゃんが目をさます涼しい季節に早くなるといいなと思う1冊です。



『雪は天からの手紙 中谷宇吉郎エッセイ集』 池内了／編 岩波書店

零下十～十五度という真冬の十勝岳の戸外で、毎日雪の結晶を観察した時のこと、また、真夏に外との気温差が五十度もある低温室で雪を作り出した話など、「雪氷学」の分野を確立した物理学者・中谷宇吉郎のエッセイ集。雪や氷のことだけではなく、社会の出来事を科学者らしい冷静な目でとらえた話もあります。これらのエッセイはどこかユーモアと暖かみのある文で書かれています。



他にもこんな“クール”の本が・・・

『雪と氷の図鑑』

武田康男／文・写真 草思社

「つらら」「しぶき氷」「シガ(氷の花)」
「雪あられ」など繊細な“雪と氷”。

また、「流水」「氷河」「雪形」などのダイナミックな事象を、美しい写真で紹介しています。

見ているだけでクールな気分。

『八月の暑さのなかで ホラー短編集』

金原瑞人／編訳 岩波書店

一九〇×年八月二十日。売れない画家のジェームスは死刑宣告を受けた男の絵を想像して描いた。その後偶然、絵に描いた男にそっくりの石工に出会う。そしてその石工は、彫り上げた墓石にジェームスの名を刻んでいた。(表題作『八月の暑さのなかで』)
他、背筋が凍るような外国のホラー集。

『向かい風で飛べ!』 乾ルカ／著

中央公論新社

寂しい日々を送っていた転校生のさつきは、同級生で天才スキージャンパーの理子に「一緒にジャンプやらない？」と誘われる。さつきは、理子のかっこいい姿に憧れ、あんなふうに飛んでみたいと思うようになる。

悩みやトラブルを乗り越え成長する少女たちの青春小説。